

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月6日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00736.html

記事ページ本文

現在位置

トップ

>

会見・報道・お知らせ

>

大臣記者会見等

>

関芳弘 文部科学大臣の会見

> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月6日）

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月6日）

令和8年10月6日(火曜日)

教育、科学技術・学術

キーワード

戸田市立戸田第二小学校への視察、第23回STSフォーラム年次総会への出席等と京都大学での意見交換、東京大学での次期総長選考をめぐる説明対応の受け止めとさらなる説明を求める意向および学長任命への影響、インフルエンザの早期流行開始に伴う今後の対応

関芳弘文部科学大臣記者会見映像版

令和8年10月6日（火曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。

令和8年10月6日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）

関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版

後日、アップロードします。

ページの先頭に戻る

お問合せ先

大臣官房政策課広報室

（大臣官房政策課広報室）

ページの先頭に戻る

文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年10月6日）YouTube 字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00736.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00736.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: <https://www.youtube.com/watch?v=Su8KSzgAr1Q>

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-10-06T12:39:02.789506+00:00

[00:00:00] え、では私の方から今日は冒頭2件あの
[00:00:04] 発表させていただきたいと思います。え、
[00:00:08] まず1件目でございます。え、先週の
[00:00:11] 金曜日、あの10月2日でございます
[00:00:14] けれども、あの埼玉県のと田市立戸田第2
[00:00:19] 小学校ここを訪問をいたしました。
[00:00:23] え、大臣の就任後、あの、初めて学校での
[00:00:28] 授業を出させていただきました。
[00:00:32] え、当日は国や、あ、が、学級活動など
[00:00:37] ICTを活用しました授業を拝見させて
[00:00:42] いただきました。で、それぞれのあの事業
[00:00:45] におきまして、[鼻息]え、先生方が
[00:00:48] デジタル教材や生成を効果的に、え、
[00:00:52] 取り入れながら、あ、1人1台端末を有効
[00:00:56] に活用がなされておりました。え、子供
[00:00:59] たちが主体的にまた活発に学んでいく姿も
[00:01:04] 拝見できまして、とても印象的ござい
[00:01:06] ました。で、また
[00:01:09] 教育庁、葛西校長との意見交換もさせて
[00:01:15] いただきました。え、その際にはICTの
[00:01:18] 活用など子供たちが大人になる未来を
[00:01:22] 見据えまして、学校教育を改革していく
[00:01:26] ことの重要性のことやまた、学びの質の
[00:01:31] 向上に向けまして、え、ICTをどのよう
[00:01:34] に活用するかが重要であり、え、教師の
[00:01:38] 方々の役割がますます
[00:01:41] となっていること、さらには教育分野に
[00:01:45] 特化をいたしましたAIの必要性やその

[00:01:50] 活用を支えますセキュリティの必要性など
[00:01:54] 多に渡りますご意見ご主さをいただいた
[00:01:57] 次第でございます。え、この度得られまし
[00:02:00] た経験を今後の文部科学行政の推進に
[00:02:05] 生かしてまいりたいと思います。それが1
[00:02:07] 点目でございます。え、2点目ござい
[00:02:10] ます。
[00:02:13] え、一昨日でございますが、あの、京都市
[00:02:16] で開催されました第23回の科学技術と
[00:02:22] 人類の未来に関する国際フォーラム、
[00:02:25] STSフォーラムですが、この年次総会に
[00:02:28] 出席をしてまいりました。え、年会では、
[00:02:32] あ、開会式に、え、出席もしましたし、
[00:02:36] またなぜ科学を信じるのかというテーマを
[00:02:39] 、あ、それをテーマとするセッションに
[00:02:41] 登壇をいたしました。え、スピーチでは、
[00:02:45] あ、先端科学の例といたしましてAIを
[00:02:50] 上げまして、その技術進展とまた共に発生
[00:02:55] してしまいますリスク、これに触れ、え、
[00:02:58] 触れながら科学や科学者が、あ、信頼さ
[00:03:01] れるためにも幅広いステークホルダーとの
[00:03:05] コミュニケーション力を含みます人間力、
[00:03:09] この人間力の向上が必要であるんだという
[00:03:13] ことを述べてま参りました。また、あ、
[00:03:17] [鼻息]年事総会のあの機会にですね、え
[00:03:20] 、米国の科学技術政策局OSTPの局長、
[00:03:27] また対の福祉兼等教育科学研究
[00:03:31] イノベーション大臣、また
[00:03:35] エジプト高等教育科学研究大臣との会談を
[00:03:39] 行いました。え、各国各国との科学技術
[00:03:43] 協力の発展等について、え、ま、意見交換
[00:03:46] をさせていただいたわけでございます。え
[00:03:49] 、加えまして京都大学の、え、立川早朝と
[00:03:55] 国際卓越研究大学としての取り組み等に
[00:03:58] ついて意見交換を行いました。え、さらに
[00:04:03] はIPS細胞研究所さですね。え、物質と
[00:04:08] 細胞の統合システム拠点のWPI
[00:04:13] アイセスを施をさせていただきました。ま
[00:04:17] 、世界最先端の研究内容や、え、研究成果
[00:04:21] を社会実装に、え、いかにつなげていくか
[00:04:25] と、ま、このような取り組みに関しまして
[00:04:27] 意見交換をさせていただきました。
[00:04:31] え、STSフォーラムの年総会には、えっ
[00:04:35] と、80を超えます国や地域及び国際機関
[00:04:38] から、え、1600名以上が参加している
[00:04:43] と伺っております。各国の閣僚や世界を
[00:04:47] リードする研究者、有識者との意見交換を
[00:04:51] 行いましたことは、ま、大変有意義で
[00:04:53] ございましたし、ま、今回の参加を通じ
[00:04:56] まして得られました、知見や信頼関係を
[00:05:00] また基礎といたしまして、今後の関連政策
[00:05:03] の研究に、え、しっかりと活用させて
[00:05:06] いただきたい、生かして思っております。

[00:05:09] 私からは以上でございます。はい。え、

[00:05:12] ありがとうございます。

[00:05:14] ではまず、え、感事者から質問させていただきます。

[00:05:17] はい。

[00:05:18] え、東京大学の早朝先行について伺います。

[00:05:21] はい。

[00:05:22] え、東京大学の地期総、え、大学院総合文学研究家の藤垣裕子教授が内定しましたが、え、学内の移行投票と連れが指摘され、東大側が先行理由を公表し、記者会見を行った後も、え、先行理由やその仮定の説明が分でないとの声が学内会から上がっています。

[00:05:42] え、東大、東大側の説明について文科省と

[00:05:45] しての受け止め、え、そして今後追加の

[00:05:47] 説明を求める予定はあるか伺います。え、

[00:05:50] また学長は大学法人の申し出に基づいて、

[00:05:53] え、文部科学大臣が任命しますが、え、

[00:05:56] 説明責任が果たされているかどうかという

[00:05:59] ところは、え、この任命に影響するか、え

[00:06:01] 、お聞かせください。はい。

[00:06:06] え、お尋ねの[咳払い]事野につきまして

[00:06:08] は、え、9月の29日に、え、早朝先行

[00:06:13] 観察会議によりまず先行流党についての

[00:06:17] 説明が行われたところでございます。え、

[00:06:21] それにつきましてメディアを含む学内外に

[00:06:24] おきまして、え、なお説明責任を果たす

[00:06:28] べきとの様々なあの意見が出ていると承知

[00:06:32] をいたしております。以前の会見でもあの

[00:06:36] 申し上げたところでございますが、早朝

[00:06:38] 選行観察会議におきまして、え、今回のお

[00:06:44] 先行に至りました理由やその過程について

[00:06:49] 丁寧に、え、説明責任を破していくことが

[00:06:52] 重要であると考えておりまして、引き続き

[00:06:56] ましてその対応を中止をしまいたいと

[00:07:00] 思っております。

[00:07:02] なお、国立大学法人のの任命でございます

[00:07:06] が、国立大学法人の申し出に基づきまして

[00:07:11] 、え、文部科学大臣が行うことと定められ

[00:07:15] ております。で、法人からの申し出に明白

[00:07:18] な、え、形式的な違法性がある場合や、

[00:07:23] また明らかに不適切と客観的に認められる

[00:07:27] 場合などを除きまして、え、法人の申し出

[00:07:31] に基づいて任命するものとされております

[00:07:35] 。で、現段階におきましては、あ、その

[00:07:39] 任命以前に早朝選行

[00:07:43] 観察会議がなぜこのような判断をしたのか

[00:07:48] ということを学内におきまして、え、説明

[00:07:51] が求められている状況でございまして、

[00:07:54] 文部科学省といたしましては同会議が、え

[00:07:58] 、どのように今回の早朝選行に関する説明

[00:08:01] 責任をあの、果たしていくのかと。

[00:08:05] 引き続き、え、中止をしまいたいと思っている次第でございます。はい。よろしいでしょうか？

[00:08:12] ありがとうございます。えと、それでは各者さんからの質問お願いします。質問の際は名使命を守ってからお願いします。

[00:08:22] はい、どうぞ。新聞の山本よろしくをお願いします。

[00:08:29] あの、全国的にインフルエンザの流行が決まっています。

[00:08:33] 厚生労働省の発表する資料には9月14日

[00:08:37] から20日にかけて急行[鼻息]と学年

[00:08:39] 閉鎖学習閉鎖を行った学校は1060校と

[00:08:42] なっています。あの前年の午後同じ時期の

[00:08:46] 9月15日から21日にかけては95校で

[00:08:49] 昨年と比較してが始まっている状態と

[00:08:52] 言えると思います。はい。感染拡大を

[00:08:54] 防ぎ子供たちの学びへのを抑えるために

[00:08:57] 文科書としてどのようなことに取り組んで

[00:08:59] いくのかまた順番に対するメッセージが

[00:09:01] あれば教えてください。はい。ありました

[00:09:03] 。え、今年のあのインフルエンザの発生

[00:09:07] 状況につきまして、え、例年よりも早い

[00:09:11] 流行入りとなっております。学校におき

[00:09:14] ましても臨時休業等が生じていることは

[00:09:18] 承知をいたしております。で、文部科学省

[00:09:21] ではこれまで学校におけます感染症対策と

[00:09:24] いたしまして、家庭との連携によります

[00:09:29] 児童性との健康状態の把握また、え、教室

[00:09:35] 等におけます適切な換期の確保、手洗いや

[00:09:42] 、え、チケット等の指導と言いました。ま

[00:09:45] 、対策に務めていただくように周知をし

[00:09:49] てるところでございますが、え、先月末9

[00:09:52] 月30日付けでインフルエンザをはじめと

[00:09:56] いたします感染症に関する注意及び感染症

[00:10:00] 対策の徹底について厚生労働省と子供家庭

[00:10:05] 庁と連盟で事務連絡を排出したところで

[00:10:10] ございます。

[00:10:12] え、これを踏まえまして、え、各学校に

[00:10:15] おきましては、え、引き続き基本的な感染

[00:10:18] 症対策に取り組んでいただきますと、とも

[00:10:21] に、え、出席停止や臨時休業の措置、また

[00:10:28] ICT危機器を活用いたしましたオン

[00:10:30] ラインでの学習指導と地域の実情を踏まえ

[00:10:35] ながら感染症対策と子供たちの学びの保障

[00:10:38] 、これを両立できますように機動的に対策

[00:10:43] を講じていただきたいと考えております。

[00:10:47] また、あの、我々、え、文部科学省と

[00:10:49] いたしましては、引き続き関係省庁と連携

[00:10:53] をいたしまして、インフルエンザをいたし

[00:10:56] ました感染症の流行状況を中止をしまして

[00:11:00] 、え、必要な対応に進めてまいりたいと

[00:11:03] 思います。はい、以上です。はい。

[00:11:09] それでは以上で会います。

[00:11:12] はい、どうぞ。

[00:11:20] 産経新聞森です。おはようございます。

[00:11:22] はい、おはようございます。

[00:11:23] 先ほどのNHK

[00:11:24] の繁盛をね、ちょっと追加でお答えしたいんですけど、

[00:11:27] はい、どうぞ。あの、お話の中で、えっと

[00:11:29] 、任命以前にという話、あの、卒業、ま、

[00:11:33] 任命以前の問題だということけれども、

[00:11:36] これはつまりその、ま、今回の先行家程に
[00:11:39] ついて大学側から納得がいくような説明が
[00:11:42] ない段階ではそもそもその認定、任命の
[00:11:45] 回避を判断するとかそういう、え、
[00:11:47] スタートラインに立つ段階にないという、
[00:11:49] そういう考えてよろしいでしょうか?はい
[00:11:53] 、あの、ま、ご指摘の点でございます
[00:11:55] けれども、ま、東京大学の方では9月29
[00:11:59] 日に、え、ま、時期早朝予定者に関します
[00:12:03] 記者会見が、ま、行われました。ま、先行
[00:12:06] 家程や先行理由についてなのしっかりと、
[00:12:09] あ、説明、え、説明を行う必要があると
[00:12:12] という声が学内で起こってるという状況を
[00:12:16] あの承知をしております。そ、今後その
[00:12:19] ようなプロセスが求められるはい。ことが
[00:12:23] 、ま、あの、う、ま、あるわけなんです
[00:12:27] 、時期的にはですね、あの、通常はあの、
[00:12:32] 今までの
[00:12:34] あの、過去の学長の先行の家程から行き
[00:12:36] ますと、申請が我々の方に上がってくるの
[00:12:40] は、あの、国立大学法人が我々文部科学
[00:12:44] 大臣の方に申してくるのはだいぶ時期的に
[00:12:47] はもう少し先が通常のケースでございます
[00:12:50] ので、時間的な、ま
[00:12:53] また今はあの後の事務的な処理を大学の中
[00:12:58] でもしているとあのところだと思います。
[00:13:01] ま、繰り返しとなりますけれども、文務
[00:13:03] 科学省といたしましては、あの、早朝宣告
[00:13:06] 観察会議や、ま、今回どのようなあ、早朝
[00:13:09] 選行に関する説明責任を今後またあの、
[00:13:13] 果たしていくのか、学内から上がっている
[00:13:15] 声なんかに対しまして、え、行っていくの
[00:13:18] かというところを、ま、引き続き中止をし
[00:13:21] てまいりたいとそうように考えところで
[00:13:24] ございます。
[00:13:26] はい。
[00:13:29] はい。
[00:13:30] どうでしょうか?よろしいですか?
[00:13:33] じゃあ、それでは以上でします。ありがとうございます。
[00:13:35] はい。はい。どうもよろしくお願いいたします。はい。ありがとうございました。